

## 戦略教材開発物語

【マル秘メルマガ】より 17 通目その 1



### ◆10. ビデオの制作を始める

経営テープやCDの開発が一段落したあと、次はビデオやDVDの開発が必要になります。

経営の勉強をする方法としては、テープやCDを聞いたり講演会に参加するなど、いくつもの方法があります。

しかし難しい内容のものを大局的につかむには、図や表で説明ができるビデオやDVDがとても有効になります。

それに「後継者や古参の社員」に経営の大事なところを正しく理解してもらうには、社長自身がインストラクターになり、ビデオやDVDを使って行う社内での教育がとても大事になります。

つまりCDとDVDとでは用途が違うのです。

このような事情からもビデオやDVDの開発が欠かせませんでした

そこで1996年の10月から、ビデオ用の原稿書きを始めました。

この時私は58歳になっていました。

それから5カ月後の1997年の2月、撮影用のパネルができたのでビデオの撮影に取りかかりました。

当時、ビデオの撮影と編集を入れると1巻を作るだけで80万円ぐらいかかっていました。

ところがイザ始めてみると、これがうまくいかないのです。

強いライトが顔に当たり、しかも誰もいないところでカメラに向かって話をするのですが、慣れてないので顔はひどく固くなり、説明は棒読みになって全く抑揚がありません。

撮影したあと3～4日すると、試作品が届けられます。

お金を払って下さるお客さんの立場で試作品を見ると、ひどい内容でした。説明は棒読みで変化はない上に、人をニラミ殺すような固い目つきになっているのです。

「イヤーこれはひどい。とても商品にならん。やり直しだー」と言って、もう一度撮影をし直しました。

2回目の試作品が届けられたあとお客の立場で見ると、やっぱりダメです。

説明はヘタな上に読みは棒読みになっているばかりか、顔は固くなっていることからこれではとても売り物にならないので、またまた撮影のやり直しです。

結局、第1部の「戦略名人」を作るのに、25回も27回もやり直しました。

料金は試作品ということで特別安くしてもらいましたが、それでも700万円ぐらいは損してしまいました。

このときビデオ会社の社長は竹田さんは撮影を諦めるので、そろそろ別の会社の仕事を見つけよう」と営業をしていたそうです。

こうした中、ようやく半年後に第1部の「戦略名人」15巻が完成しました。

原稿書きの段階からすると、まる1年もかかってしまいました。

1つのテーマを完成させたあと、2～3カ月休憩して次のテーマに移るということを繰り返しながら、フルラインを作り上げるのに7年もかかってしまいました。

結局、テープとビデオを合わせると全部で13年間もかかり、開発に使った資金は1億5,000万円にもなっていました。

こうして、これまでの間に作ったテープとCDは160巻。ビデオやDVDは130巻になり、2つを合わせると290巻にもなりました。

(続く)

*Lanchester* ランチェスター経営(株)

〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>

